

聴覚障がい

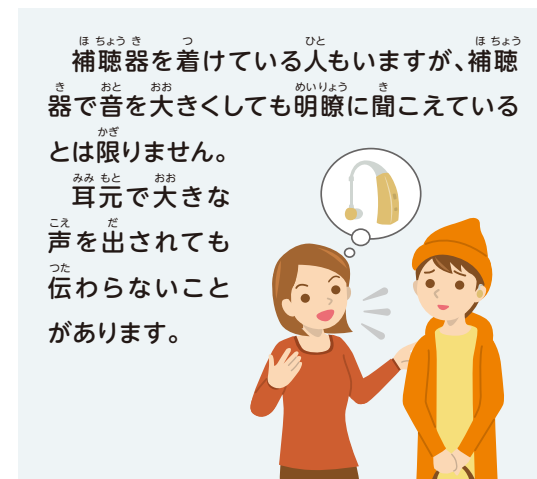
聴覚障がいは、音が聞こえない、または聞こえにくい状態をいいます。「ろう者」は、全く聞こえない人、「難聴者」は、少し聞こえる人です。「中途失聴者」は、言葉を身につけた後、聞こえなくなった人たちです。コミュニケーションの手段には、「手話」「筆談」「口話」「身振り手振り」などがあり、また声を出して話せる人と、話すのが難しい人がいます。聴覚障がいのある人全員が手話を使えるとは限りません。

耳からの情報が得にくいと、文字や図などの視覚(目)により情報を得ています。手話通訳や要約筆記などの支援を受けて社会参加しています。

困っていることを理解しましょう

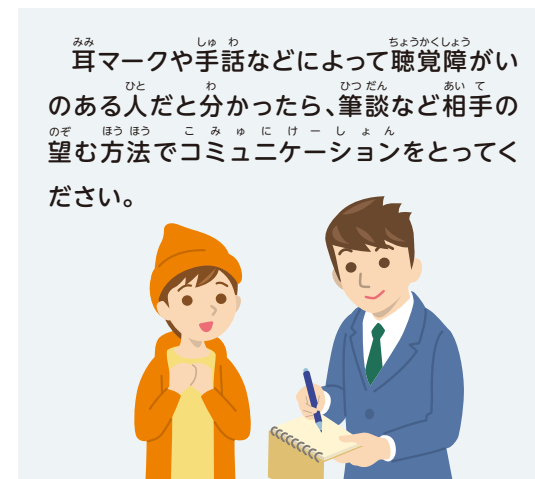
外見からは分かりにくい障がいです。また、耳からの情報を得ることが難しいので、状況を

判断できずに、途方に迷うことがあります。聞こえの程度はさまざまです。難聴者の中には、補聴器をつけてもはっきり聞こえない人も多くいます。

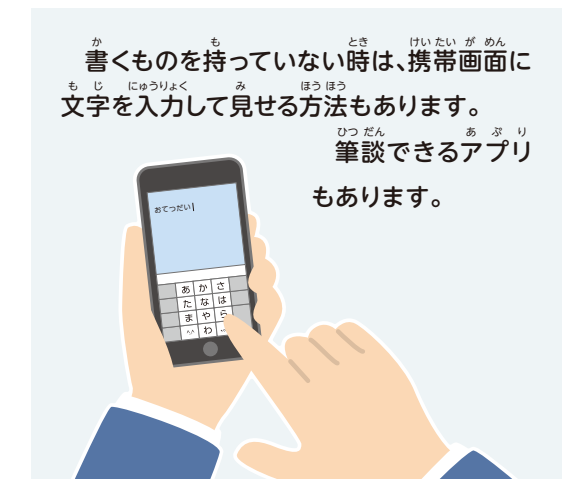


こんなことに配慮しましょう

聴覚障がいのある人でも、聞こえの程度や聞こえなくなった時期などによって、それぞれコミュニケーションの手段が異なります。



聴覚障がいのある人に情報を求められたら、話の内容を紙に書いたり、ゆっくりはっきり話したり、身振りあるいは手話などを使ったりして伝えてください。相手に伝えようという気持ちが大切です。



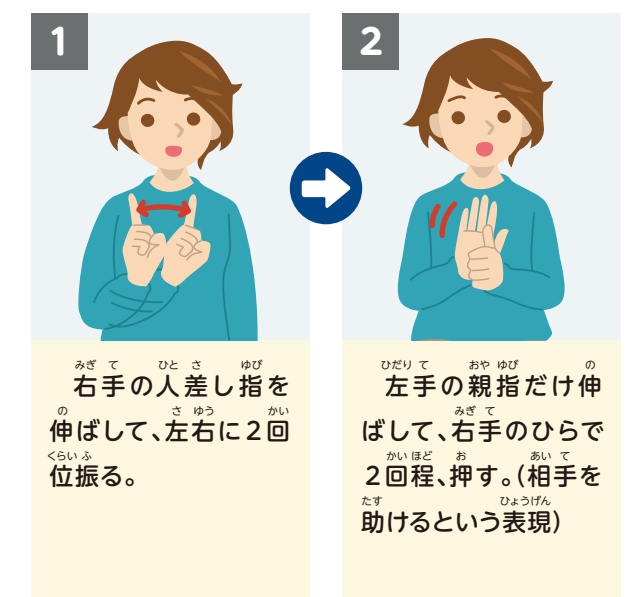
手話を使用している人とは、何かひとつでも手話を使って会話ができるといいですね。手話は手だけをを使うのではなく、表情も一

緒につけるとより伝わりやすくなります。ただし、聴覚障がいのある人全員が手話を使えるわけではないので、注意してください。

こんにちは



お手伝いしますか？



耳マーク・手話マーク・筆談マーク



【耳マーク】
聞こえが不自由なことを表すマークです。

一般社団法人
全日本難聴者・
中途失聴者団体連合会



ろう者等が、手話や筆談での対応をお願いするために提示したり、窓口等で、手話ができる人がいることや、筆談で対応することを知らせるために掲示したりして使うマークです。

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

